



ゆう&あい

4月号
平成31年
3月24日発行

優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛

播磨町ボランティアセンター・播磨町善意銀行
発行所：社会福祉法人 播磨町社会福祉協議会 TEL079(435)1712



認知症サポーター養成講座 (平成31年度)

85歳以上の4人に1人が認知症と言われており、若い方にも認知症が起こる今日、『認知症に対する理解を深めること』を目的として、認知症サポーター養成講座を開催いたします。

この講座では「認知症の仕組みや予防・治療」「認知症の方との接し方」を学びます。ご興味・ご関心のある方は、下記までお申込みください。

日時 平成31年4月20日(土)午前10時～11時30分

場所 播磨町福祉しあわせセンター 会議室(3階)

定員 30名(先着順) ※定員を越えた場合、播磨町在住・在勤者を優先します。



認知症サポーターのオレンジリング
(受講者には差し上げます)

お申込み・お問い合わせ 播磨町地域包括支援センター 電話 079-435-1841
播磨町南大中1-8-41 播磨町福祉しあわせセンター内

つながりと支え合いの地域づくり講演会

現在、播磨町の高齢化率は26.9%となっており、地域の高齢化はますます進んでいます。また単身世帯も増加しており、住民同士のつながりが希薄になってきている今、孤立化が心配されます。国の方では、2025年には高齢化率が30%を超えると予測されている超高齢社会に向けて地域包括ケアシステムの深化を目指し、“地域づくり”に重点が置かれた施策が始まっています。今回の講演は、住民の皆さんと共にもう一步踏み出し、希薄化・複雑化・高齢化する地域の課題に向き合いながら、支え合いの体制づくりやつながりの再構築を目指して開催します。

講演 「地域包括ケアってなに？
～これからの地域の姿と私たちにできること～」

講師 兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松 真人氏
※他市町の実践報告もあります。

日時 3月29日(金) 13:30～15:45

会場 播磨町中央公民館 大ホール

問合せ ※事前申込みは不要です。
播磨町社会福祉協議会 電話 (079)435-1712



ゆき 幸ばあちゃんの家にいっしょい

どこにあるの？南野添にあります。ちょっと立ち寄ってみませんか。過ごし方は皆様のご自由に。期間内はフリースペースとして開放します。

- ※オセロ、将棋、囲碁を置いています。
 - ※ポットのお湯を準備しています。飲食の持ち込みOKですがゴミの持ち帰りにご協力をお願いします。
 - ※申し込みは不要です。ただし駐車場がないので、徒歩・自転車で！
- 皆さんで気持ち良く集って、のんびり、ほっこりするために



開放期間

4月 → 5日、12日、19日、26日
5月 → 10日、17日、24日、31日
すべて金曜日
時間 → 11時から14時まで

- ・販売、営業、勧誘はしないでね。
- ・個人やグループによる占有はせず、譲り合って交流を楽しんでください。
- ・近隣にご迷惑とならないようなご配慮を！

ホッとね コミュニティNews

去る3月2日(土)、セフレ播磨の集会所において、記念すべき第1回「ふれあい茶屋」が開催されました。この茶屋を主催するのは、セフレ播磨にお住いの有志で結成された「セフレ播磨ボランティアグループ」の皆さん。代表の山中さんは、長らく町外で仕事をされていたこともあり、ご近所の方とのつながりがなかったそうです。神戸で高齢社会に関する勉強会に参加したことがきっかけとなって、やはり自分の住んでいる地域で何かしたいな、という気持ちが強くなり、良いタイミングで知り合えた住民の方に思い切って想いを打ち明けた所、賛同して

笑顔のつながりを

くれた仲間ができて、セフレ播磨の住民どなたでも気軽に集える場として「ふれあい茶屋」を立ち上げられました。当日は、手作りのちらし寿司とお味噌汁を用意され、参加された方々と歓談しながら食事をし、歌やゲームで楽しいひと時を過ごされました。このふれあい茶屋が住民の皆さんのふれあいの場・つながりの場として長く続いて行かれることを願っています。



急募! 職員募集

播磨町社会福祉協議会では、職員を募集しています。詳しくは、社協のホームページをご覧ください。

地域包括支援センター

社会福祉協議会

ケアマネジャー
【嘱託職員】

経理・事務職員
【パート職員】

デイサービスセンター

デイサービスセンター

介護職員
【パート職員】

運転手
【パート職員】

問合せ 播磨町社会福祉協議会
電話 (079)435-1712

伝言板

このページに関する問合せは
播磨町社会福祉協議会
TEL.079-435-1712
 E-Mail info@harima-wel.or.jp

心配ごと相談

秘密厳守

- 日時 毎週火曜日 13時～16時
- 場所 福祉しあわせセンター

法律相談

- 日時 平成31年4月2日(火)
13時30分～15時30分

高齢者や障害者の方のお金や財産の管理(成年後見制度)についての相談もお受けします

◎法律相談をご希望の方は、事前に心配ごと相談をお受けください。

福祉相談

- 日時 4月3日(水)・17日(水)
13時30分～16時
- 場所 福祉しあわせセンター

民生委員・児童委員が
ご相談をお受けします。

困りごと相談

秘密厳守

- 日時 4月11日(木)・25日(木)
13時～15時
- 場所 福祉しあわせセンター

播磨町人権擁護委員が
ご相談をお受けします。

知的障害者(児)相談

- 日時 第2火曜日
13時～14時30分
- 場所 播磨町福祉会館

おもちゃルーム “きらきら”

い～っぱいのおもちゃで遊ぼう
4月の開設日

- 日時 4月4日(木)・4月20日(土)
10時～12時
- 場所 播磨町福祉会館



地域の公民館や集会所を拠点とした楽しい仲間づくりの活動である「ふれあい・いきいきサロン」をご存知ですか?このサロンは、住民同士のふれあいの中で孤立感の解消や心身機能の維持向上を図ること、そして、自らの手で住みよい福祉のまちづくりを推進することを目的としています。社協では、平成13年度から呼びかけを始め、現在、町内35の自治会で取り組まれています。

去る2月27日(水)に、播磨町健康いきいきセンターにおいて、自治会長さんとサロン運営責任者の皆さんにお集まりいただき連絡会議を開催しました。今回は「傾聴」の研修も併せて実施し、講師を招いて「相手の気持ちに寄り添う受容と共感のコミュニケーション」を学びました。その後、31年度に向けての事務説明や出前講座の紹介等をさせていただきました。

サロンを開催されている自治会の情報は、社会福祉協議会までお問い合わせください。また、31年度新たにサロンの立ち上げを考えておられる自治会がございましたら、ぜひご相談ください。

寄付者ご芳名 あたたかい善意をありがとうございました。 (平成31年2月7日～平成31年3月6日)

●福祉のために

(個人の一部)		(敬称略)	
地区名	氏名	金額	
大 中 団 地	匿 名	20,000円	
宮 西	匿 名	5,000円	

(団体の部)		金額
団体名		
平成30年度ことぶき大学 健康学科3年生一同		1,169円

●今月の払出状況

子どものいない高齢者誕生日祝	27,000円
要 援 護 世 帯 米 代 (1件)	3,650円

認知症カフェ

- 日時 4月13日(土) 13時30分～15時30分
- 場所 幸ばあちゃんの家
- 内容 懇談会
- 問合せ 播磨町地域包括支援センター 079-435-1841

住み慣れた地域で「社会参加」しませんか?

一般介護予防事業「はつらつ広場」

住み慣れた地域でいつまでも「はつらつ」と暮らすことができるように、地域の皆さんと一緒に、健康づくりやレクリエーション活動に取り組みます。週に1回以上、続けて参加すること・通うことが大切なことであり、皆さん一人ひとりが役割を持って取り組むことで、介護予防や重度化防止にもつながります。



1. 利用対象者：おおむね65歳以上の方で、各会場までお越しいただける方。
(要介護認定を受けている方も参加可能です。*要相談)

2. 開催場所と時間：毎週 各会場 9:30～11:30

月曜日	福祉会館
火曜日	南部コミュニティセンター
水曜日	西部コミュニティセンター
木曜日	野添コミュニティセンター
金曜日	東部コミュニティセンター



3. 参加費：1回 100円

4. 内 容：血圧のチェック、体操の時間、脳トレやゲーム、レクリエーション

5. 問合せ・申込先：播磨町社会福祉協議会 TEL. 079-435-1712

はじめまして。認知症地域支援推進員です。今年1月からは、2025年まで3ヶ月が経とうとしています。2025年の超高齢社会への対策の一員として何かお役に立てる事があるのではと意気込み就任しましたが、実際はわからない事だらけで会議に参加するだけでトヘトヘになりました。専業主婦として子育てに没頭していた頭脳を呼び覚ますには時間がかかります。難しい内容は、このように抜け落ちています。「こんなんで私はこのように価値があるのか」と悩んでいる最中、上司から「肩に力が入っているのが目に見えてわかる。もっと肩の力を抜いて。周りの評価を気にせず自分の考え方を伝えなさい」と助言されました。その日から私は自分ではできないと認め、羞恥心無くし、周りの助言を求め、認め、羞恥心無くし、経験を積みながらチャレンジしてみようという風に気持ち切り替える事で気分が少し楽になりました。この春からうちの娘は小学校に入學します。私と同じ新しい環境で戸惑い、困難に打ち当たる事が多々あると思います。自分の教訓をもとに、娘自身から悩みを打ち明けてもらえるような関係を築いていけるように日頃からのコミュニケーションを大切にしようと思えます。

出産から就学まであっという間だったように感じますが、2025年まで6年。きつとあっという間に5人に1人が認知症と言われる時代が到来しているんだと思います。この認知症は加齢に応じて誰もが直面するということを理解し、決して恥ずかしいものでも隠すべきものでもなく、社会が向き合うべき病であるという事を広め、困った時には周りにSOSを発信できるような関係作りが大切なのだと思います。世間の関心は認知症予防が主ですが、認知症保険の普及や、発症後の対応等積極的に学ぼうとする傾向が徐々に見られており、「自分ごと」として捉え始めていくように感じています。ここ播磨町でもこれからますます活性化していきたくらなと希望を持って臨んでいます。

(中)

ほのぼのの便り

播磨町地域包括支援センター